

子ども時代本を読むのが好きだった私は、日課であったピアノ練習の時、楽譜の前に本を置いてまで読んでいたものでした。本が閉じないよう押さえながら、機械的で無意味な片手練習を繰り返していたのです。そんな私にとって学校帰りに図書館に立ち寄ることはごく当然のことでした。

当時旧田無市には中央図書館しかなく、古ぼけた市庁舎と公民館にはさまれた赤レンガ作りの建物は、私にとって大変魅力的に見えました。一人八冊までという貸出冊数をよくごまかして、沢山借りまくっていました。そんな日々もいつしか遠く、他に興味のうつつた私の生活の中に「図書館」の文字は全く失せてしまいました。

月日は流れ今や立派な「オバサン」となった私は、子どもの幼稚園入園と共に図書館通いが復活しました。現在は、読みたいものを借りるほか、公民館活動や子ども関連の下調べ等で図書館にお世話になっていきます。本は目についたものを選ぶのもいいのですが、パソコンで話題の本や読みたいものを

検索して予約するのも楽しいようです。タイトルが全部わからなくてもキーワードになるような言葉を入れると関連本を打ち出してくれるので、こんな本もあるのかと色々調べるうちに最初に探していた本は何だったかと考えることもしばしば。そして予約しすぎてしまうのも悩みの種です。

借しむらくはCD在庫数が少ないこと、そしてDVDのサービスがないことでしょうか。DVD導入はスペース面で難しいかもしれませんが、ぜひ前向きに検討していただきたいと思えます。もう一点、月曜日が祝日の際、翌火曜日でも休館となり利用できないのが残念です。二日も続けて休館となると損したような気がしてなりません。

職員の皆様には山のような本と様々な市民に対応する日々で、色々大変かと思えます。でも、いつも笑顔でテキパキと作業をこなし気遣いを見せてくれる姿に私はいつもほわくつとした思いになります。今後とも市民にとっての憩いの場でもある図書館を変わらず提供していただけるよう、願っています。



**図書館利用カード  
書きかえのお願い**

図書館では、ご利用いただいている皆さまの登録データを定期的に確認させていただき、更新作業を進めています。つきましては、現在ご使用中の利用カードが、旧市名(田無市・保谷市)の方は、新市名(西東京市)の利用カードへの書きかえをお願いいたします。

旧市名のカードで東久留米市及び清瀬市の図書館をご利用の方は、新市名のカードに書きかえの上、各市の図書館で再登録が必要になります。また、住所等に変更がある方は、住所が確認できる身分証明書類をお持ちください。

**講演会のお知らせ  
「源氏物語の魅力」**

地元の大学の先生に、源氏物語について楽しく語っていただきます。お気軽にご参加ください。

**講師** 松村武夫氏(武蔵野大学文学部教授・研究領域・平安朝時代末期の文学)  
**日時** 2月5日(土)午後2時～4時 ※午後1時30分から受付  
**場所** 田無公民館 視聴覚室  
**定員** 50名(当日先着順)

**絵本と子育て事業  
文化講演会のお知らせ**

「かわいいがるってどんなこと？」  
乳幼児を育てている方を対象とした講演会です。関心のある方もどうぞご参加ください。保育がつきます。

**新しい公民館・図書館の  
あり方策定委員会報告**

今年、西東京市の図書館は30周年の節目を迎えます。これを機に、今後20年間の公民館・図書館の将来像を検討し「あり方」を策定するために、『新しい公民館・図書館のあり方策定委員会』を発足させました。

第1回会議は11月19日(金)に開かれ、委員の委嘱や役員選出、開催日時の調整などを行いました。  
第2回会議は12月3日(金)に行われ、図書館の現状と課題について協議しました。  
本格的な論議はこれからですが、策定委員会の協議内容は、紙上で皆さまにお知らせしていく予定です。